

学校だより 熱 砂

＜発行＞
令和3年7月15日
発行責任者：
校長 和田 政男

一学期終業式校長式辞「私たちの身体は、ここは何でできているの？」

入学式や卒業式、始業式、終業式などは教育課程の中で「儀式的行事」と言います。このような機会を利用して儀式に臨む態度や姿勢、意義等を指導しております。集会禁止のプロトコルが続く中、儀式的行事についてはなるべくその雰囲気をつくりだそうと、校長や代表児童・生徒等は体育館に集まり、式辞や発表をし、それを各教室にオンライン中継する形で行ってまいりました。しかし、せっかくの式辞や発表の音が聞きづらい、との反省があり、今回は体育館に集まることなく、パソコンの前で発表することになりました。形をとるか、内容をとるか、今後のオンラインでの儀式的行事の持ち方を引き続き工夫いたします。

本日の一学期終業式、校長式辞をご紹介します。

1学期の間、音楽祭は開催できませんでしたが、予定していた学習をしっかりと行うことができました。安全対策もみんなできちんと守り、校内でのコロナ感染を発生させなかったことも、大きな成果だったと思います。

昨日の自分と今日の自分を比べると、あまり変化がないように感じますが、身体の中を流れる水も、心の中を流れる気分も、微妙に違うでしょう。4月初めの始業式の時と、今日の終業式の自分を比べてみれば、その違いが一層はっきりと感じられると思います。1学期67日間の学校生活で、皆さんが大きく成長したことを皆さんと共に確認し、喜びあいたいと思います。

二つの質問をしますので、考えてみてください。

一つ目、私たちの身体は何から出来ているの？ 中学生になると、私たちの身体はタンパク質から出来ていること。私たちの身体を作っている元素は主に炭素、水素、酸素、窒素などであることを勉強しますが、それらの材料は、どこから取り入れているのか？そう。私たちが昨日食べたもの、一昨日食べたもの、飲んだものから出来ているのです。ですので、できるだけ体に良いものをバランスよく食べることが大切です。

二つ目の質問です。それでは、私たちの心は何から出来ているのでしょうか？

私たちの心は、これまでに聞いた言葉、読んだ本、勉強したこと、自分が発した言葉、経験したこと等々、そういうものから出来ていると考えられないでしょうか。ですから、お互いに出来るだけ相手の立場に立った、思いやりのある心地よい言葉を発し、身体を動かし、質の良い経験をし、たくさんの本を読み、勉強することが大切です。

明日から37日間の夏休み。それぞれの家庭で、バランスの良い食事をし、たくさんの質の高い経験をし、大きく成長して2学期の始業式に元気に登校してきてください。

Teams の使い方

昨年度初めのドバイでのロックダウンを機に、本校でもオンライン授業の導入を、試行錯誤を繰り返しながらおこなってまいりました。導入した Teams はとても便利で、突然のオンライン授業や種々の会議にも対応でき、課題の配付や提出、緊急の連絡と大変重宝するツールであり、今では Teams なしには学校運営がしにくくなるほどの存在になっております。

他方、次第にコロナパンデミックという有事から、平時の学校に戻そうとするとき、新しく手に入れたツールである Teams の使い方について「線引き」が必要な場面があることも課題としてあがってきました。

一例として、チャット機能の使い方があります。

国内の学校でも生徒同士のスマホを使った深夜まで及ぶ制限のない Line メッセージの交換や「Line いじめ」と名付けられるような使い方、あるいは教師と子ども、保護者との内容や時間帯の不適切なメッセージ交換などが問題となり、地域や学校においては教員への（児童・生徒、保護者との）Line 使用を禁止しているところもあります。

危惧されるような状況は Teams のチャット機能でも同様で

あり、本校においても注意して使用しないと、「不適切な使用」と言われかねない状況となりかねません。

緊急の際の連絡や、電話が繋がりにくい状況での連絡など、大いに役立つツールですので、適切に活用しながら、緊急ではない連絡などでの使用は控えていただくなど、内容や時間帯に配慮した利用をお願いいたします。

同様のことは職員にも指導しておりますし、今後「利用マニュアル」などにまとめることも考えます。

事件・事故に巻き込まれないよう 家族の一員としての役割を果たす夏休みに

夏休みの過ごし方については、学級担任の先生からご指導いただいている通りです。

くれぐれも、事件・事故に遭わないよう、安全に配慮した夏休みとしてください。また、家庭で過ごす夏休みは、お手伝いなど、家族の一員としての役割、責任を果たすことも大切です。

緊急時の学校への連絡（平日であれば日直の先生が在席しております）は、下記をお願いいたします。学校および教頭先生が持っている緊急用の携帯電話になります。